



中学生記者が
総力取材!

子どもたちが活躍! ～北区の伝統芸能～

北区に根付く
地域の伝統文化

皆さんは北区の伝統芸能を知っていますか?

実は北区には獅子舞や農村歌舞伎のように約100年もの歴史がある伝統芸能があります。

今回は4人の中学生広報記者が、子どもたちが活躍する獅子舞と歌舞伎を取材しました。

新琴似歌舞伎

新琴似歌舞伎は、明治30年ごろに田中松次郎を中心とした農村の青年たちによって始められました。娯楽の多様化などによって大正時代に一度途絶えましたが、平成5年に連合町内会を中心とした新琴似歌舞伎伝承会が設立され、貴重な伝統文化として現在に伝えられています。同伝承会では今年も10月に、新琴似中



かつらをつけていよいよ本番です

学校の1年生を対象に歌舞伎講座を開催。



裏方を務める小笠原義さん

今年、6人の生徒が役者と裏方を体験し、「白浪五人男」を演じました。練習は夏休みから始まり、演技指導の島田無響さんから足の動きやせりふの言い回しなどを教わりました。

赤星十三郎役の土谷真里奈さんは「自ら希望して役者になりました。本番では緊張しましたがうまくできました。また歌舞伎をやってみたくて」と話していました。



最後のシーンでは見事な見えを切りました(左から2番目が土谷さん)

